



武内勝・口述、村山盛嗣・編

賀川豊彦とポランティア

献身の50年を語る

社会活動の原点

賀川豊彦献身百年記念

の行事が、2009年、

神戸と東京で意義深く展

開された。賀川は190

9年クリスマススイプに、

貧しく苦しんでいる人と

生活を共にするために、

神学校の寮を出て、神戸

・新川に移り住んだので

ある。賀川が大正、昭和

にわたり多方面に行つた

社会活動の原点であつ

た。記念事業の一つとし

て、賀川著「友愛の政治

経済学」(原著は英文、

1937年刊)が、野尻

武敏・神戸大学名誉教授

の監修で、初めて日本語

に訳されて出版された。



た。評者が日本社会党を
代表し、インドのニュー
デリーで開かれた反アパ
ルトヘイト国会議員世界
大会(1987年)に出席
したとき、スウェーデン
の国会議員から「あなた
は賀川を知っているか」
「私は賀川の本を読んで
スウェーデン社会民主党
に入党した」と話しかけ
てきた。彼が読んだのは
この本ではなからうか。
ところで、武内の語り
口にはキラキラしたとこ
ろが全くない。その秘密
は、「私ども、新川のこと
しか知らない者にとって
は、ここでやっておる事
業が、それほど値打ちが
あり、意義があるとは充
分理解していなかったの
であります」にあるよう
な気がする。武内はそれ
について、新約聖書のル

(神戸新聞総合出版セ

ンター・1890円)

力による福音書・第10章
20節にある「あなたがた
の名が天にしろされてい
ることを喜びなさい」と
いうキリストが弟子に与
えた言葉を引いている。

年頃の書としてぜひ読ん
でほしい一冊である。

(河上民雄・東海大名
誉教授、元衆議院議員)

一方、賀川の新川での6年まで渡米、留学の間、
活動の初期からの協力者 わずか21歳で留守をゆた
である武内勝が、賀川とねられ、賀川が関東大震
の50年を振り返り、口述 災の直後、活動の拠点を
し、武内の後継者ともい 東京に移したのちも神戸
うべき村山盛嗣が聞き手 での活動を任されている
として編集した「賀川豊 彦とポランティア」が新
版として出版された。武 前者は英文であったこ
ともあり、日本ではあま 版として出版された。武
り知られてなかった、い 師の後援で大正3年から
わば「幻の名著」であっ

に訳されて出版された。

に訳されて出版された。

ひょうご 選書